



workshop TASS+
18:30~ @市ヶ谷田町校舎

6/18(fri) 【建築造形論】
7/2(fri) 【プレゼンシュミレーション】
7/17(sat) 【高山事前説明会】



Takayama Architecture Seminar School 2010

高山建築学校 2010

講師 (敬称略)

吉江 庄蔵 (彫刻家)
岡 啓輔 (建築家・ダンサー)
岡崎 浩司 (高山建築学校 OB)
夏掘 陽一 (高山建築学校 OB)

申し込み/問い合わせ先
Tel : 080-3450-6077 (運営委員: 橋本)
hashiken0205@hotmail.co.jp

※参加締め切り 7月25日までに名前・住所・所属・電話番号・E-mailを明記、上記に御連絡下さい。
その他質問等もお気軽にお問い合わせ下さい。

内 容 : ものづくりワークショップ
期 間 : 8/11(水) - 8/21(土)
※前日までに現地集合です。
※車、バイク、自転車、駐車スペースあり
高速バス、電車で来る方は JR 飛騨細江駅まで来て頂ければ車で迎えに行くことも可能です。

場 所 : 〒509-4201
岐阜県飛騨市古川町中数河高山建築学校

交通アクセス
・車—中央道松本ICより約2~3時間
・高速バス—新宿~飛騨高山線
・電車—JR高山本線〔飛騨古川駅〕よりバス又は 車で30分

参加費 : 一人4万円 (食費・材料費・維持費)
メイン日程以外の滞在費は別料金

持ち物
・着替え (洗濯機はありません)
・作業着 (つなぎや汚れてもいい服など)
・作業靴 (別にサンダルもあると便利)
・帽子 (日差しがキツイ)
・防寒具 (標高が高いので、夜はぐっと冷えます)
・タオル (バスタオル、フェイスタオル)
・洗面具 (シャンプー、石鹸はあります)
・虫除けスプレー (必需品!! キンカンなど)
・常備薬、日焼け止め
・作業道具 (ある程度の大工道具は揃ってます)
・プレゼンテーションに使える道具 (色鉛筆、絵の具 etc.)
・スケッチブック
・保険証のコピー (もしもの時のために)
・布団のシーツ2枚

高山建築学校の歴史と今
高山建築学校は、法政大学で教鞭をとられていた故倉田康男先生がつくられた、建築を学ぶ為の小さな寄宿所で、1972年に開設し、倉田先生の亡くなられた現在、学生主体となって継続しています。飛騨高山で夏の限られた期間を、課題、講義、セルフビルドに費やします。かつては建築評論家や哲学者、英文学者、言語学者、建築家では大江宏氏、建築史家の藤森照信氏など多数を講師として迎えてきました。
2001年度高山建築学校から、彫刻家ならびに法政大学講師の吉江庄蔵氏を校長に迎え、学生主導による運営をおこないます。建築という枠にとらわれず、他領域からも積極的に参加者を募り、木材、コンクリートといった一般的な建材をはじめ、台形集成材、鋳物、FRP、土といった素材を実際に扱うことで「つくる」ということを理解しようというのが学校の目的です。

